

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																							
仙台総合ペット専門学校	昭和58年10月22日	菅原 一博	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区2丁目11-20 (電話) 022-221-1112																							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																							
学校法人 菅原学園	昭和35年3月26日	理事長 菅原 一博	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区2丁目11-10 (電話) 022-221-1111																							
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																						
文化・教養	文化教養専門課程	飼育管理科[アカアコース]	平成17年 文部科学省告示第30号	-																						
学科の目的	動物が健康に過ごすための適切な管理技術と知識、そして動物の魅力をお客様に伝えることができるコミュニケーション力を身に付けた動物飼育の現場で即戦力となる人材育成を目的とする。 また、動物とのかわり方や、自分の選択する将来の仕事が社会とどのような結びつきを持つのかを理解することで、社会貢献の精神を養うことも目的とする。																									
認定年月日	平成27年2月25日																									
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																				
2	2142	1088	102	952	-	-																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
80人	10人	0人	5人	7人	12人																					
学期制度	■1学期: 4月1日～9月30日 ■2学期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況を総合勘案して行う。評価は、100点法とABCDの4段階法を併用して行い(5段階以上)の評価で合格とする。																						
長期休み	■夏季: 7月25日～8月21日 ■冬季: 12月24日～1月10日 ■春季: 3月21日～4月10日		卒業・進級条件	各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者に対し進級および卒業を認める。卒業については、所定の年限以上在学中、課程を修了したと認められた者とする。																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・担任、科長との面談・保護者連絡の実施 ・スクールカウンセラーとの面談実施		課外活動	■課外活動の種類 文化祭・スポーツ大会・校外研修 ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他(民間検定等) (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) ペットショップ・アクアリウムショップ ■就職指導内容 1年次: 業界理解・自己理解・電話応対・履歴書作成 2年次: 求人紹介・個人面談・応募書類作成 ■卒業者数 8 人 ■就職希望者数 8 人 ■就職者数 8 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 : (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士2級</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>家庭動物管理士3級</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>ビジュアル動物検査シニア3級</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>損害保険募集人試験</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	愛玩動物飼養管理士2級	③	4人	4人	家庭動物管理士3級	③	5人	5人	ビジュアル動物検査シニア3級	③	4人	3人	損害保険募集人試験	③	8人	8人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																							
愛玩動物飼養管理士2級	③	4人	4人																							
家庭動物管理士3級	③	5人	5人																							
ビジュアル動物検査シニア3級	③	4人	3人																							
損害保険募集人試験	③	8人	8人																							
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中途退学率 10 % 平成31年4月1日時点において、在学者10名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者9名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 カウンセリングルームの設置に加え、定期的に学校満足度・学校生活意欲調査を実施し、学生一人ひとりの抱える悩みを把握し個別面談に活かしている。また、必要に応じて保護者を含め担任、科長、副校長との面談を実施している。																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・菅原学園 特待生制度・菅原学園 奨学金制度(給付型奨学金) ・菅原学園 各種優遇制度(部活動優遇、課外活動優遇、皆勤優遇、資格・検定優遇、親族優遇)・菅原学園 卒園児優遇制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																									
当該学科のホームページURL	http://www.sugawara.ac.jp/pet/																									

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

関連企業等との連携を図り、業界が求める人材と、学校が取組む人材育成が合致するよう連携をしていく。また、カリキュラムの編成にあたっては、年に2回実施する「教育課程編成委員会」の意見の他、科の教職員が関連分野の企業や卒業生の就業先へ積極的に出向き、現場が求める知識や技術、技能についての情報を収集しカリキュラムの充実を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校が、実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程(カリキュラム)の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として、教育課程編成委員会として位置付けている。

具体的な活用の流れとしては、学科担任がカリキュラム案を提案、教育課程編成委員会で審議されたのち副校長及び校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
赤澤 暁昌	一般社団法人 全国ペット協会 事務局長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
佐々木 淳子	命のリレー・アニマルサポート 猫サロン 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
黒沢 久美子	DOGSALON Karen 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
伊東 則道	伊達の街動物病院 院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
柳田 恵梨	DOG SCHOOLやなぎ 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
渡邊 圭	(有)ヨネヤマ プランテーション ペットエコ仙台	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年に2回以上開催する。開催時期については、カリキュラム編成や外部委員の方々の都合等を総合的に判断して決定する。

(開催日時(実績))

第1回 令和元年12月26日 13:00～15:00

第2回 令和2年3月27日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

病気や疾病の相談をペットショップスタッフにする飼い主もいるが、診察・診断・治療などの医療行為は獣医師がおこなうものであり、ペットショップスタッフには動物病院への速やかな接続を期待したい。そのためペットショップスタッフを多く輩出する飼育管理科でも獣医師の授業を取り入れ、動物医療について学ぶ機会を設けてみたらどうか、との意見をいただいた。意見を参考に令和2年4月から獣医師が担当する「小動物の病気と健康管理」科目を設置することになった。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ペット業界から求められる人材の育成を基本に、専任教員と連携企業より派遣される講師が密接な連携を図り、実習授業をとおして業界で求められる技術、知識、技能を習得した即戦力を育成する。

企業が求める技術とコミュニケーション能力の優れた学生の育成という観点から、学生の技術やコミュニケーション能力について、その習熟度を教員と講師が筆記・実技試験を通してともに確認をし、業界が求める水準までの学習方法について検討・改善を行い、効果的な教材や指導方法を研究開拓する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携協力をいただいている店舗に学生が立ち、従業員および本校教員の指導・援助の下、現場で日ごろ行われている実務へ取り組む。その経験をとおして、生体の管理方法、給餌方法、清掃方法、お客様を迎えるに相応しい挨拶や言葉づかい、限られた時間の中でこなすべき仕事の優先順位を考えて組み立てる時間意識などを身につける。また、動物の命と向き合うことの責任や企業としての社会貢献について学ぶことも目的とする。なお、評価表に基づいて学生一人ひとりの学習成果の評価を企業よりいただき学期末の成績評価に反映している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
マリンアクアリウム学	海水生体の持つ身体的・性質的特徴や、海水魚水槽のメンテナンスを行う上で必要とされる知識について全般的に身につける。授業は海水魚やサンゴ、イソギンチャク生体とそれらを飼育するうえで必要とされる用品の販売、水槽の出張メンテナンス業を営む講師の指導の下、現場で求められる専門的な知識とお客様へより良いアドバイスができる能力を養う。	有限会社オフィスクリアール アクアプロジェクト ナッシュビル
マリンアクアリウム実習	海水魚の飼育器具やその使用方法、水質・生体の管理方法を実習授業のなかで実際に触れながら学ぶことで、水槽メンテナンスの全般的な技術を身につける。実習は、現場同様の施設・設備を用いておこなわれ、グループで協力し、チームで仕事をこなすという意識の向上と、限られた時間の中で質の高いメンテナンス、レイアウトが出来る能力を養う。	有限会社オフィスクリアール アクアプロジェクト ナッシュビル
飼育管理実習(1)	総合ペットショップへ出向き、従業員及び本校教員の指導の下、実際の専門店で行われている業務へ取り組み、その経験をとおして、生体の管理方法、給餌方法、清掃方法、お客様を迎え入れるに相応しい挨拶や言葉づかい、限られた時間の中でこなすべき仕事の優先順位を考え、組み立てる能力を養う。	有限会社ヨネヤマプランテーション ペットエコ松森店

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

職務に必要な実践的かつ専門的知識、技術及び技能習得と、広い視野の涵養を図り、優れた判断力、創造力、実行力を養い、積極的な学生等に対する指導力としなやかな感性、豊かな人間性を有する教職員を育成する。また、教職員の意識向上を図り、自己啓発を促進することを目的として行う。

なお、現在は「学園規定集」における「教育研修規定」を設けて運用している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「水棲亀の生理生態と管理について」(連携企業等:爬虫類・両生類オフ会)

期間:令和1年11月19日(火) 対象:飼育管理科 学生・教員

内容:水棲亀の歴史、現在の販売種、入荷ルートについて。

最新の管理方法や学校で飼育している生体の生理生態について。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「初年次教育セミナー2019」(連携企業等:株式会社 進研アド)

期間:令和1年7月23日(水) 対象:飼育管理科 教員

内容:入学初年度の退学を防ぐための指導方法と取り組みについて。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ペットショップ実習 引率」(連携企業等: 有限会社 ヨネヤマプランテーション ペットエコ仙台松森店)
期間: 令和2年11月5日(木)、11月12日(木)、11月19日(木)、11月26日(木)、12月3日(木)、12月10日(木)、12月17日(木)

令和3年1月21日(木)、1月28日(木) 対象: 飼育管理科 学生・教員

内容: 総合ペットショップで働くことで専門的な知識と技術、そして業界の動向や最新のトレンドなどについて。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「メンタルヘルスの基礎知識」(連携企業等: 厚生労働省宮城労働局)

期間: 令和2年12月4日 対象: 学生・教員

内容: スレッサーに関しての理解とストレス負荷時の症状の理解。ストレスコーピングについて。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学生が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受するため、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、その自己評価結果を企業等の役職員及び学校関係者と評価する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像 ②学校における職業教育の特色 ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想 等
(2) 学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能しているか 等
(3) 教育活動	①教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか ②教育到達レベルや学習時間の確保が明確にされているか 等
(4) 学修成果	①就職率の向上 ②資格取得率の向上 等
(5) 学生支援	①進路就職に対する支援体制の整備 ②学生相談に関する体制の整備 等
(6) 教育環境	①施設・設備 ②学内外の実習、研修についての教育体制 等
(7) 学生の受入れ募集	①学生募集活動 等
(8) 財務	①学校の財務基盤 ②予算・収支計画 等
(9) 法令等の遵守	①法令の遵守と適切な運営 ②個人情報保護 等
(10) 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献 ②学生のボランティア活動支援 等
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

専門科目を実施する教員の知識・技術を高める機会を増やしていくべきであるとの意見をいただいた。意見を受け、実店舗を使用して実施している「ペットショップ実習授業」を引率している教員も企業の教育担当者より現在の流行商品、接客方法について学ぶ機会を設けることにした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
赤澤 暁昌	一般社団法人 全国ペット協会	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
佐々木 淳子	命のリレー・アニマルサポート 猫サロン 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
黒沢 久美子	DOGSALON Karen 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
伊東 則道	伊達の街動物病院 院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
星 亮介	(有)TRC 爬虫類倶楽部 仙台店 店長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
松本 久美子	ペットケア クレア仙台 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

公表時期: 令和元年12月25日

URL: <https://www.sugawara.ac.jp/pet/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質保証・向上を図るとともに企業等の学校関係者の理解を深め、連携・協力を推進するため、学校の概要をはじめ、教育内容、評価結果等の情報を学生や保護者、関係企業や社会に向けて情報提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校情報の公開(目標、計画)
(2) 各学科等の教育	各科の案内
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	資格取得・就職実績
(5) 様々な教育活動・教育環境	校舎・設備
(6) 学生の生活支援	学生寮
(7) 学生納付金・修学支援	学費について・入学サポート制度について
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者報告
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	オープンキャンパス

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL: <https://www.sugawara.ac.jp/pet/>

授業科目等の概要

(文化・教養 専門課程 飼育管理科〔アクアコース〕) 令和元年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリアガイダンス	就職対策（筆記・面接）に加え、企業選びをする上で必要となる求人票の見方（社会保険・福利厚生）について学ぶ。	2・通	68	4	○			○	○		
○			キャリアデザイン	将来の仕事をイメージするための企業研究、自己理解、インターンシップや就職活動に向けた履歴書の作成方法など、就職活動の基礎について学ぶ。	1・後	34	2	○			○	○		
○			コミュニケーショントレーニング	ペット業界で求められる仕事への取り組み方や心構え、業界理解と接客に必要なコミュニケーションについてグループワークを交えながら学ぶ。	1・前	34	2	○			○	○		
○			パソコン実習(1)	「MicrosoftWord」を使用しての文書作成、広告作成をとおして、パソコンの基本操作を習得する。また、文書処理能力検定試験（ワープロ）の対策にも取り組む。	1・通	68	2			○	○		○	
○			パソコン実習(2)	「MicrosoftExcel」の基本操作を身に付け、売り上げ管理、顧客情報管理などにも役立つ技術を学ぶ。また、文書処理能力検定試験（表計算）の対策にも取り組む。	2・通	68	2			○	○		○	
○			ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナー（一般常識、職務知識、マナー・接遇等）について全般的に学ぶ。また、ビジネス能力検定試験の対策にも取り組む。	1・前	34	2	○			○	○		
○			愛玩動物飼養管理學	動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	1・後	34	2	○			○	○		
		○	愛玩動物飼養管理士1級対策	「動物の愛護及び管理に関する法律」の趣旨に基づき、愛玩動物（ペット）の愛護及び適正飼養管理の普及啓発活動などを行うために必要な知識を学ぶ。	2・通	68	4	○			○		○	
		○	愛玩動物飼養管理士2級対策	動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	2・後	34	2	○			○	○		
○			アクアリウム學	金魚や熱帯魚などの淡水魚を飼育するための基礎的な管理方法や飼育に必要なとされる様々な用品の特徴を学び、販売スタッフとしての知識を身に付ける。	1・通	68	4	○			○		○	
○			マリンアクアリウム學	海水魚をそれぞれの分布域や性質に分類し、魚種ごとの飼育方法や特徴について学ぶことで海水魚飼育者への適切なアドバイスができるように知識を身に付ける。	2・通	68	4	○			○		○	○
○			アクアリウム実習	アクアリウム実習室内の各種生体の状態を観察し、必要に応じた管理を実践することで適切な管理方法を身につける。また、生体販売時に行うパッキングなどもおこなうことで販売スタッフとしての技術を身に付ける。	1・通	136	4			○	○		○	

○		マリナクアリウム実習	海水魚、珊瑚、イソギンチャクを中心とした海水生体について学ぶ。実習室の海水水槽の管理をとおして専門的で高度な飼育技術を身に付けるとともに、飼育に必要な各種用品についての使用方法についての理解も深め	2・通	136	4				○	○			○	○
○		アクアリウムレイアウト実習	水草レイアウトの構図作成から植え込み、トリミングを含めた日常の管理をとおして、レイアウトの技術を身に付ける。	2・通	68	2				○	○				○
○		ペットショップ販売学	動物倫理や犬・猫販売時の確認点や説明時のポイント、注意点を学ぶ。また、犬・猫のフードやサークルなどの用品の特徴と使用方法についても学ぶ。	2・通	68	4	○				○			○	
○		水草の分類と特徴	水草の種類や特徴、トリミング方法、植栽方法を学び、水草レイアウト水槽の作成、アドバイスができる知識を身に付ける。	2・通	68	4	○				○				○
○		飼育管理学(1)	ペット飼育されている小動物・鳥類の生態や習性、飼育管理知識と必要な用品の使用方法を習得し、ペットショップでの飼育および販売に携わる為の基礎知識を身に付ける。	1・通	68	4	○				○				○
○		飼育管理学(2)	1年次に学習した基礎を応用し、より高度な飼育管理方法、様々な飼育用品やフードの説明をお客様にアドバイスできるよう知識を身に付ける。また、関連科目との連携を強め、繁殖、病気についても合わせて学ぶ。	2・通	68	4	○				○				○
○		飼育管理実習(1)	飼育動物の給餌や清掃の管理をとおして、小動物の日常管理方法を学ぶ。また、総合ペットショップに出向き、学校で学んだ知識と技術を店頭で実践する管理実習も行う。	1・通	136	4				○	○	○	○	○	○
○		飼育管理実習(2)	1年次に身につけた基本的な動物の管理技術をより正確に、迅速に行うほか、繁殖の実践や病気の予防を目的とした環境作りについても実習をとおして身に付ける。	2・通	136	4				○	○			○	○
○		小動物の病気と健康管理	小動物、鳥類が罹患しやすい病気やその症状についての知識を習得する。また、それらの病気を未然に防ぐために必要な管理方法についても学ぶ。	1・通	68	4	○				○				○
○		小動物繁殖学	ワサギやインコ、ハムスター等の小動物の繁殖方法を習得する。また、繁殖を希望する飼い主様への適切なアドバイスができるよう、生体ごとに適した繁殖環境について学ぶ。	2・前	34	2	○				○				○
○		総合学習(1)	ペット関連企業からの特別講義や企業説明会の実施に加え、様々な行事や各実習の補足となる講義・実習を行う。また、動物関連の観光施設へ出向く見学研修を行い、総合的に業界理解を深める。	1・通	68	4	○				○			○	
○		総合学習(2)	ペット関連企業からの特別講義や企業説明会の実施に加え、様々な行事や各実習の補足となる講義・実習を行う。また、動物関連の観光施設へ出向く見学研修を行い、総合的に業界理解を深める。	2・前	34	2	○				○			○	
○		熱帯魚の分類と特徴	熱帯魚の分類による生態や特徴、性質、管理方法の違いについて学ぶことで各魚種に合わせた適切な飼育知識を身に付ける。	2・通	68	4	○				○				○
○		爬虫類・両生類・昆虫学	爬虫類・両生類・昆虫の飼育環境や保定方法、給餌等、各生体に合わせた飼育知識について学ぶことで飼育者への適切なアドバイスができる能力を身に付ける。	2・後	34	2	○				○				○
○		爬虫類実習(1)	実習室で飼育している様々な種類の爬虫類・両生類・昆虫の基本的な飼育管理方法について実習授業をとおして身に付ける。	1・通	68	2					○	○	○	○	○

○		爬虫類実習 (2)	1年次に修得した管理方法を応用し、より生息地域に近い環境の再現や病気予防、飼育環境のリセットから立ち上げまでを行う力を身につける。	2・通	68	2			○	○		○		
○		販売士演習	店舗に並ぶ様々な商品の流通や店内のレイアウト、接客マナー等の販売業に携わる知識を学び、知識習得の証明となる「リテールマーケティング3級」の取得を目指す。	1・通	102	6		○		○				○
○		プレゼンテーション	「Microsoft PowerPoint」の基本操作を身に付け、スライドの作成、プレゼンテーションの準備からリハーサル、そして本番までの流れを実践的に学ぶ。	2・通	68	2			○	○		○		
○		ペットショップ会計	売上げや仕入れ計算などの経営に必要な会計の基礎を学び、簿記検定の取得を目指す。	1・通	68	4	○					○		○
合計				31科目	2,040単位時間(92単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者。また、所定の年限以上在学し、課程を修了したと認められた者とする。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。